

こあら組



日ごとに寒さが増して冬らしくなってきました。朝、登園してきた子どもたちが冷たい手をして寒そうにしています。その手をさすってあげると目を細めて嬉しそうにしていますよ。朝そのように寒くても日中になって身体を動かせば、息を弾ませて元気いっぱいです。空気が乾燥して体調を崩しやすい季節でもありますので、年末のお忙しい時期とは存じますが、ご家庭と園とで細かく伝えあいながら健康に過ごせるようにしてまいりたいと思います。

(こあら組担任 田中 ゆみ子)

ばんだ組

朝晩の冷え込みも厳しくなってきましたが、木枯らしに負けじと子どもたちは元気いっぱいに落ち葉を拾い集めたり、「おててつめたーい」と言いながら季節を肌で感じたりしています。最近のばんだ組さんは発表会に向けて表現遊びを楽しんでいます。衣装も自分たちで選んで作り気持ちもどんどん盛り上がっていますよ！また、来年度に向けボタン付きの服になり、お着替えも頑張っています。ボタンが難しく「できないー」という声や、ボタンを諦めそのまま次の活動へ移ってしまう子もいますが、出来た時の嬉しそうな顔が輝いています。ひとつひとつ一緒に援助をしながら「できた」の達成感に繋げてまいりたいと思います。

(ばんだ組担任 猿渡 明日香)



直前インフォメーション

○クリスマス発表会

12月3日(土) 詳細はホームページに載せてありますのでご確認ください

○お楽しみ会

12月8日(木) 内容は移動動物園を行います、子どもたちにはサプライズで準備しております。

○ウインタースクール

12月15日(木) 伝承遊びを行います。

○冬季休暇

12月19日(月)～1月4日(水) 詳細は後日手紙をHPにアップいたしますのでご確認ください

※学園閉鎖期間 12月29日(木)～1月3日(火)



◎保護者IDについて

セキュリティ上保護者IDは必ず見えるところ、コートの上から着用をお願いいたします。

12月の目標



- こあら組**
- ・簡単な言葉を使って保育者や友だちとやりとりをする。
 - ・冬の季節を感じながら楽しく遊ぶ。
- ばんだ組**
- ・手洗い、うがいの習慣を身につけ、健康に過ごす。
 - ・寒さに負けず、戸外で身体を動かして元気に遊ぶ。



12月の絵本

子どもたちが興味を持っている絵本
先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！



こあら組 「かおかおどんなかお」

文 柳原良平 絵 柳原良平 出版社 こぐま社

人にはいろいろな表情がありますが、それをわかりやすく伝えてくれる絵本です。その様々な表情を見ていくだけで心が動かされ楽しくて不思議です。一緒に同じ顔をするのも楽しいですよ。コロナ渦で大人がマスクをしている今だからこそ必要な一冊かもしれません。

ばんだ組 「おかしなおかし」

著者：レヴィ.D. (ディディエ) 絵 山村浩二 出版社：福音館書店

お菓子たちがスポーツセンターにやってきて「ぷるぷるプリンがトランポリン」などリズムカルでユニークな言葉遊びの絵本です。読めば読むほどリズムが心地よく繰り返して読んでしまいます。シリーズで「くだものだもの」や「おやおやおやさい」という絵本もあるので、気に入ったら是非揃えて読んでみるのも良いかもしれません。

12月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。
ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪いとまき

作詩 不詳 デンマーク民謡
編曲 前田菜月

いとまきまき いとまきまき

ひいてひいて とんとんとん

いとまきまき いとまきまき

ひいてひいて とんとんとん

できた できた

こびとさんの おくつ



♪サンタが町にやってくる

作詩 H. ギレスピー
作曲 J.F. クーツ

訳詞 カンベタカオ、新田宣夫

※さあ あなたから メリークリスマス

わたしから メリークリスマス

サンタクロースイズ カミングトゥー タウン

ね きこえて くるでしょう

すずのねが すぐそこに

サンタクロースイズ カミングトゥー タウン

まちきれないで おやすみしたこに

きつとすばらしい プレゼントもって

※繰り返し



食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることを紹介しております。

ぜひご家庭でもおこなってみてくださいね。

今回は食具の持ち方についてお話いたします。

始めは手づかみ食べをする事で、目と手と口の協調運動が出来るようになってきたり、つかんだものの温度や触感を感じ、一口のサイズを覚え、なによりも自分で食べたいという意欲が育ちます。その後胴体から近い順に腕、肘、手首、指先と動かせるようになるにつれて食具の持ち方も変わっていきます。

① 上手持ち（腕、肘が自由に動かせるようになる頃）

まずは大人が上から手を添えて口に運んであげます。それから今度はスプーンに一口分だけ乗せ自分で口に運べるようにします。そして少し深めの皿に少量取り分けて自分で掬う経験が出来るようにします。

② 下手持ち（手首が自由に動かせるようになる頃）

手首を外側へ反せるようになり、フォークで食材を刺して食べる事も上手になります。同時に食器に手を添える事も伝えていけると良いですね。この時期にはキラキラとさせる手遊びや砂場でのスコップで掬って移す作業、次のステップへの指先の発達を促す為にクレヨンでのお絵描き、シール貼り、紙をちぎる、つまむ、粘土遊び等の遊びを取り入れて行きます。

③ 鉛筆持ち（指先で力を入れてつまめるようになる頃）

ばんだ組さんでは最近わかりやすいように親指と人差し指でピストルの形を作り「ばきゅーん持ちしてみよう」と親指、人差し指、中指の3点持ちが出来るように少しずつ練習しています。鉛筆持ちをし、この先のお箸への移行に繋げていくステップとなります。ここで中指が柄の上側にきてしまう場合はまだ指の筋力が足りない可能性が考えられます。変な癖がつかないように、焦らず上記で紹介した指先遊び等を取り入れてから中指が柄の後ろ側にくる様に繰り返し伝えていきましょう。食事の意欲が減らないよう前向きな声掛けとタイミングを見ながら無理のないように進めていきましょう。

